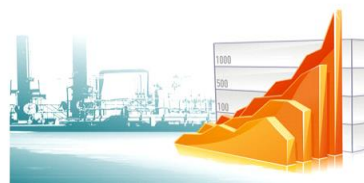


ぎふ経済レポート



令和6年12月分
岐阜県商工労働部

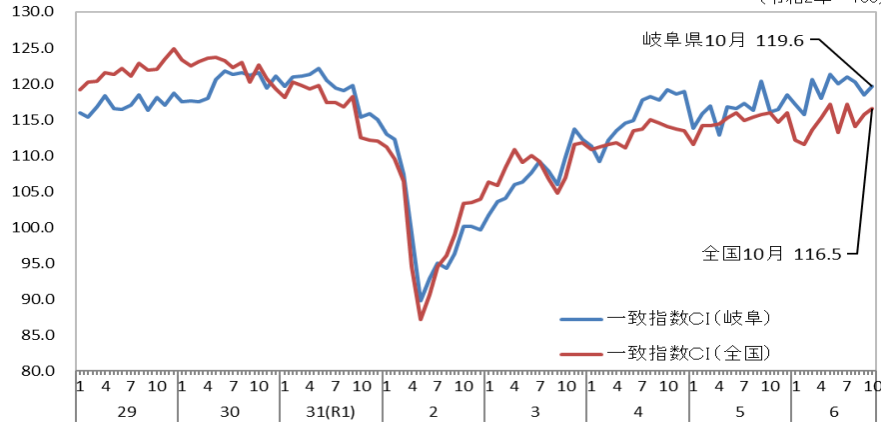
※企業等へのヒアリングは12月23日～25日を中心に実施し、1月27日時点で作成。

景気動向

○10月の景気動向指数(一致指数)は、119.6
で前月比1.2ポイント上昇となった。
○11月の県内中小企業の景況感は、▲16.0
で前月比7.0ポイント上昇となった。

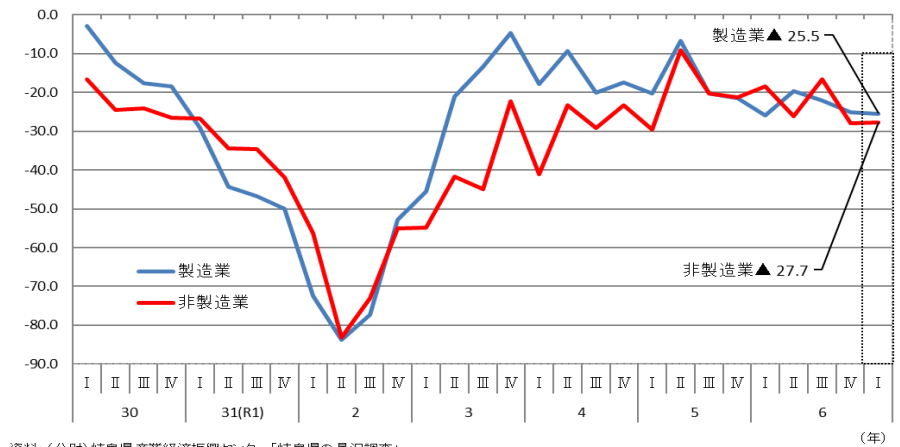
○1-3月期の景況DI見通しは、製造業で前期比
▲0.3ポイント、非製造業で同0.3ポイント上
昇となった。売上高DI見通しは、製造業で前期
比 ▲5.0ポイント、非製造業で同▲2.1ポイント
となった。

岐阜県及び全国の景気動向指数(一致指数)の推移 (令和2年=100)



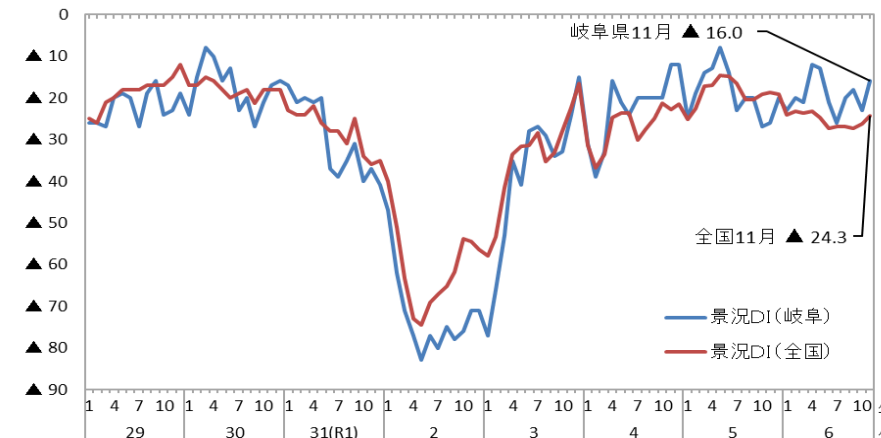
資料: 県統計課「岐阜県景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」

県内企業の景況DI(増加-減少)の推移



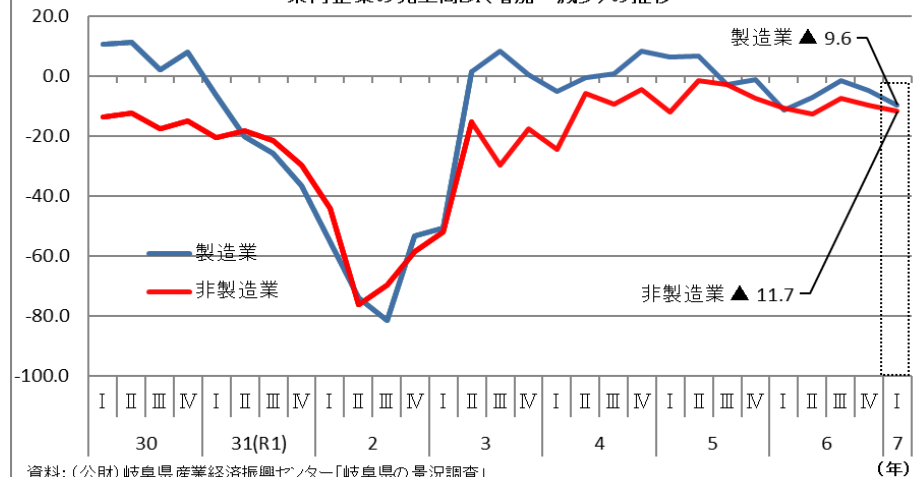
資料: (公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

岐阜県及び全国の中小企業の前年同月比景況感DI(好転-悪化)の推移



資料: 岐阜県中小企業団体中央会「岐阜県内中小企業の景況動向」、全国中小企業団体中央会「中小企業月次景況調査」

県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移



資料: (公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

製造業

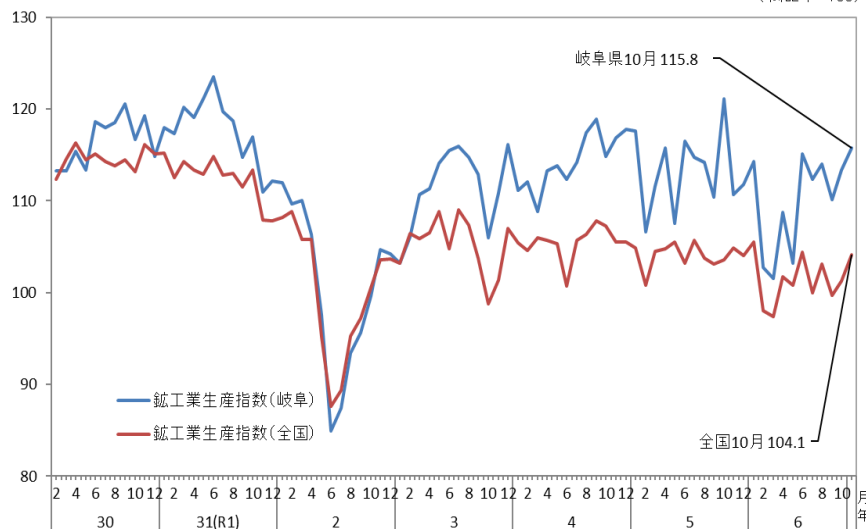
○10月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、115.8で前月比2.1%上昇となった。

○産業別の前月比では、化学工業、はん用、金属製品、非鉄金属、プラスチック製品で上昇となった。一方で、輸送機械、鉄鋼業、電気機械、窯業・土石で低下した。

○10月の主な産業の指数は、化学工業で前月比19.6%、はん用で同8.9%、金属製品で同3.6%、非鉄金属で同3.4%、プラスチック製品で同1.9%上昇となった。一方で、輸送機械で同▲2.8%、鉄鋼業で同▲1.4%、電気機械で同▲1.2%、窯業・土石で同▲0.6%となった。

鉱工業生産指数の推移

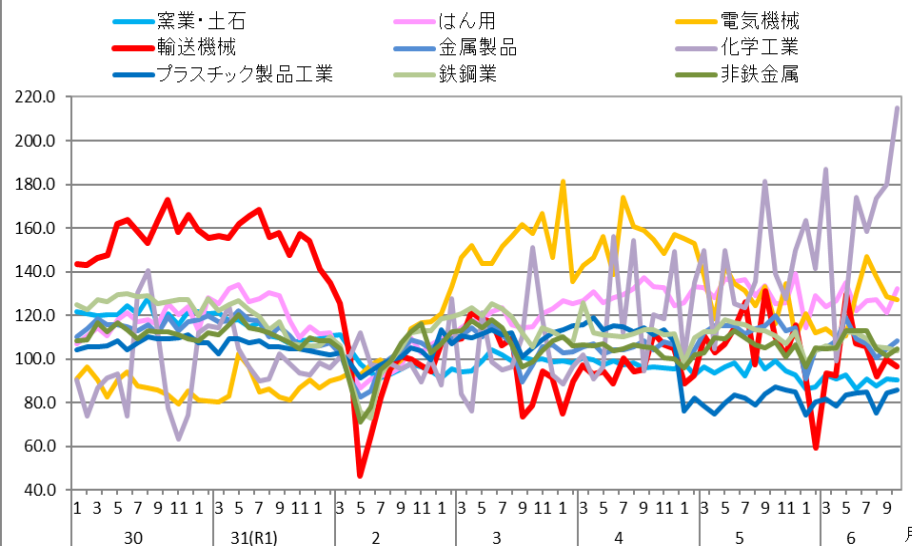
(令和2年=100)



資料: 県統計課「岐阜県鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業生産指数」

主な産業の鉱工業生産指数

(令和2年=100)



資料: 県統計課「岐阜県鉱工業指数」

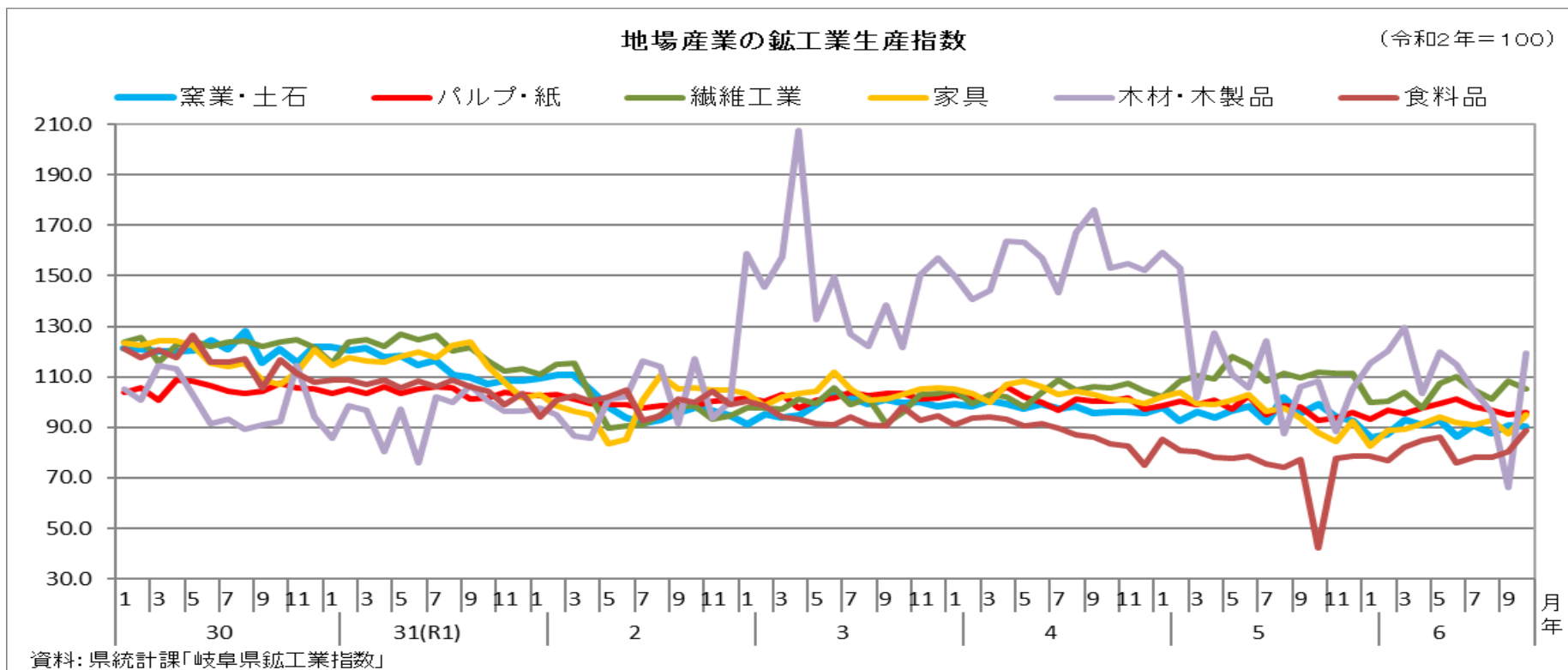
現場の動き

(※原油・原材料高騰、海外情勢等に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ 大手自動車メーカーの生産停止分の振替が行われたことで、生産数が増加し、今期で最も業績が良かった。(輸送機械器具)
- ◆ 一部自動車メーカーの業績が低迷しており、ダイキャスト業界全体で業績が良くない。取引業者が自主廃業するケースが増えており、代わりの業者を探すのに苦慮している。(輸送機械器具)
- ◆ 農機関連は依然として低迷が続き、来年は更なる悪化を予想。建機関連は中国経済の低迷で更に減少する見込み。(生産用機械器具)

製造業－2

○10月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、木材・木製品で前月比79.7%、食料品で同10.7%、家具で同9.0%、パルプ・紙で同0.7%上昇した一方で、繊維工業で同▲2.9%、窯業・土石で同▲0.6%となった。



現場の動き

(※原油・原材料高騰、海外情勢等に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ 夏は暑さが長引いたおかげで売上が増加したが、秋がなく、いきなり冬のバーゲンの時期に入ってしまったので、冬の売上はかなり悪い。(繊維・アパレル)
- ◆ 海外からの輸入製品を加工して販売しているため、円高の時期に海外からの商品を少し多めにストックすることにより、為替の動きに対応している。(刃物)
- ◆ 輸出量は前年並みの水準を維持しているが、国内出荷量は全体的に低迷している。(陶磁器)

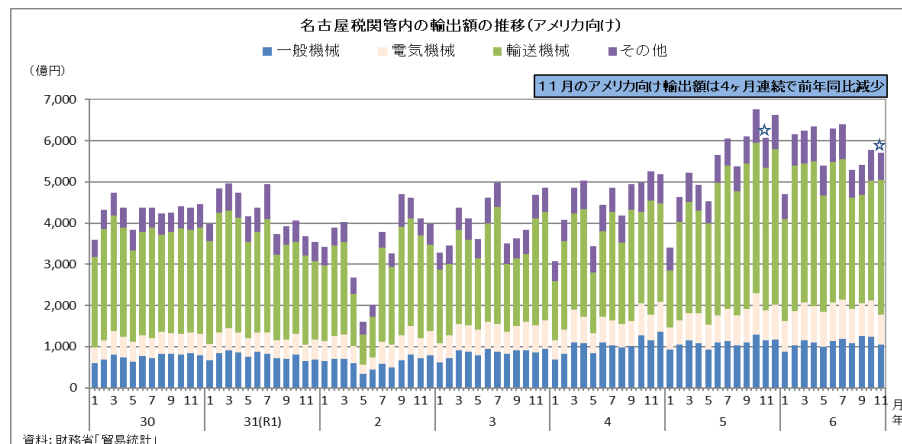
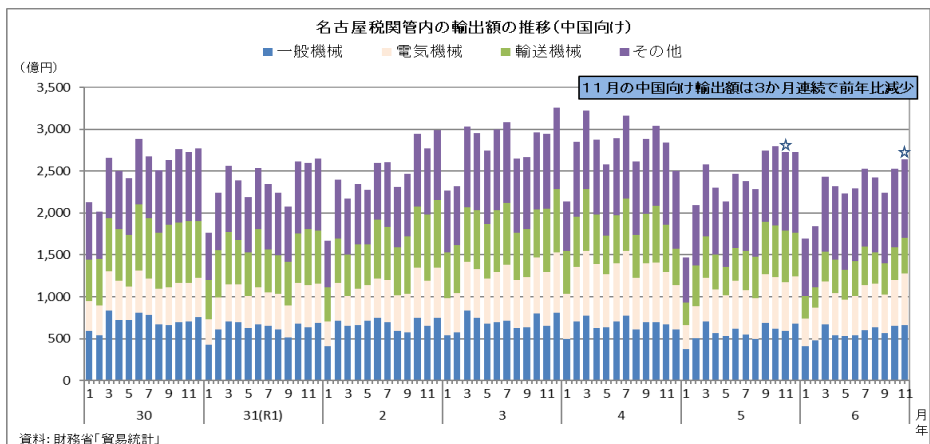
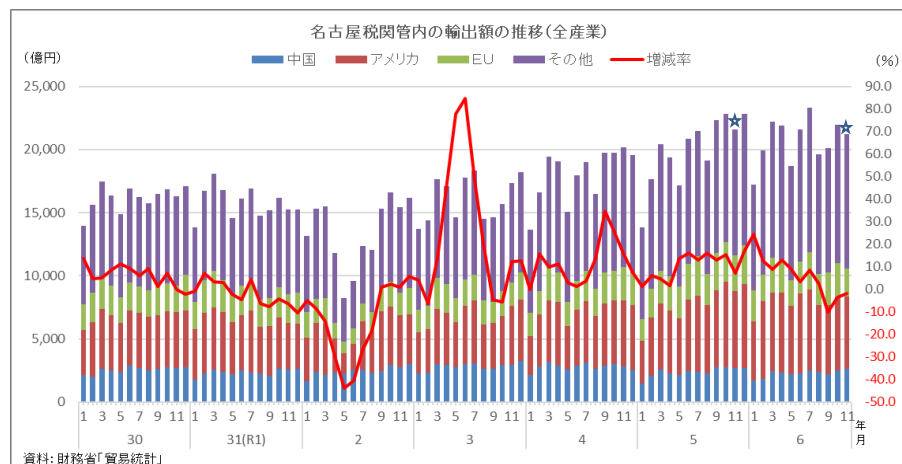
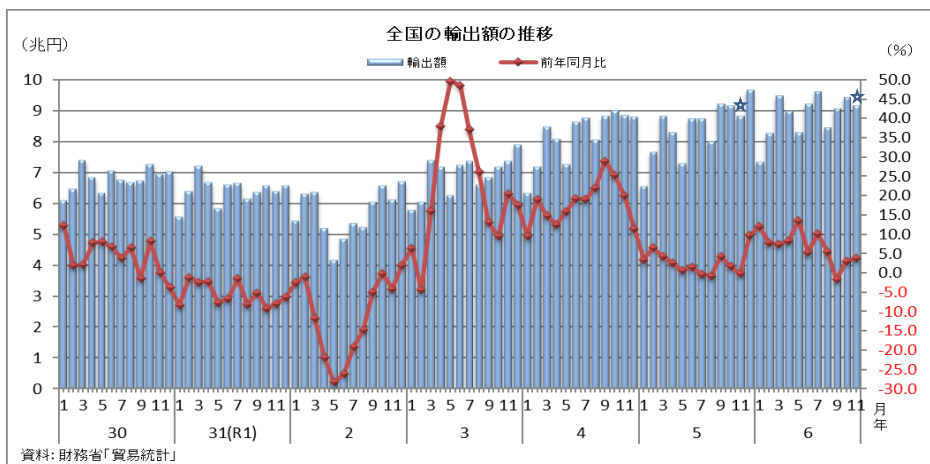
輸 出(名古屋税関管内)

○11月の輸出額(全国)は、9兆1,523億円で前年同月比3.8%増加となった。

○11月の輸出額(名古屋税関内)は、2兆1,228億円で前年同月比▲1.8%となり、3ヶ月連続で前年同月を下回った。

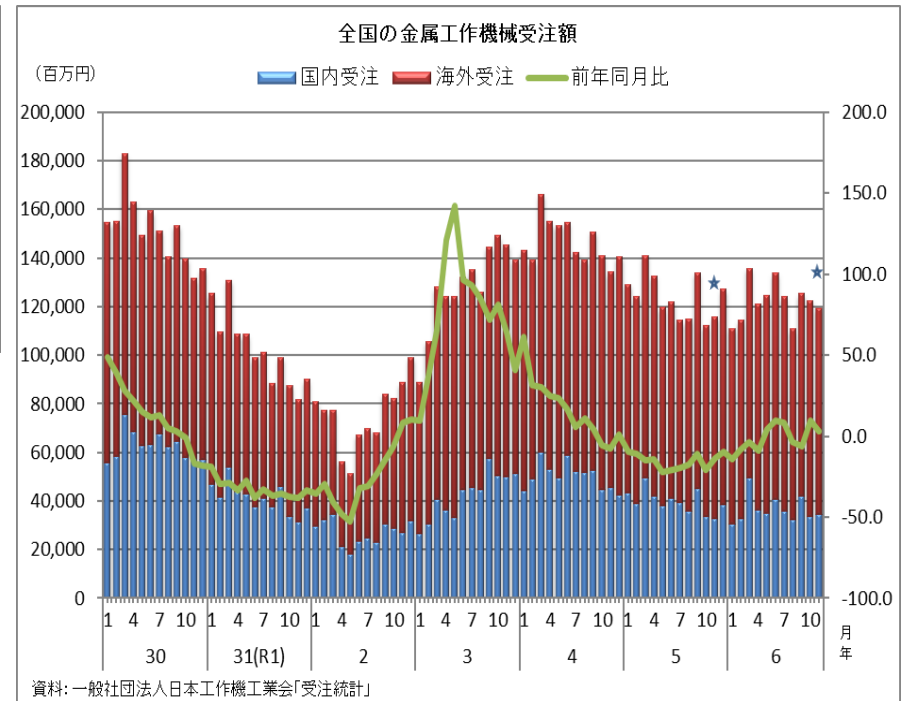
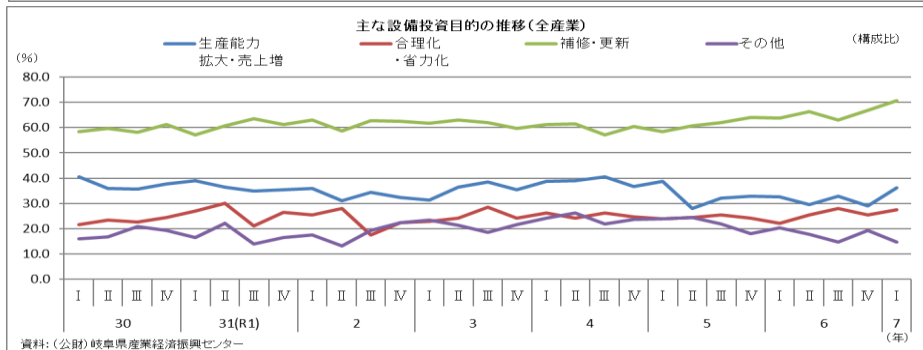
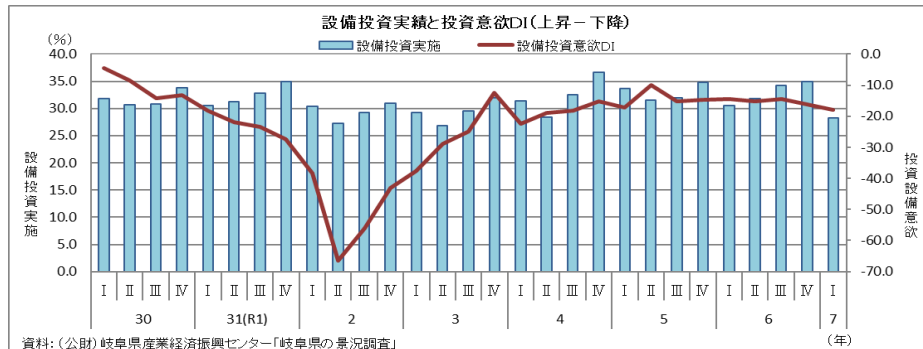
○中国向けは、全体で前年同月比▲3.2%となった。その内、一般機械で同13.1%、電気機械で同4.6%増加した一方で、輸送機械で同▲30.5%となった。

○アメリカ向けは、全体で前年同月比▲6.1%となった。その内、一般機械で同▲8.5%、輸送機械で同▲5.7%、電気機械で▲2.1%となった。



設備投資

- 1－3月期の設備投資実施見通しは前期比▲6.6ポイント、設備投資意欲DI見通しは同▲1.7ポイントとなった。設備投資実施見通しの目的別では、「生産能力拡大・売上増」で前期比7.2ポイント、「補修・更新」で同3.9ポイント、「合理化・省力化」で同1.9ポイント上昇となった。
- 11月の全国の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比3.0%増加と2ヶ月連続で前年を上回った。内訳は国内受注は同5.0%増加と27ヶ月ぶりに前年同月を上回り、海外受注は同2.2%増加と2ヶ月連続で前年同月を上回った。



現場の動き

- ◆ 生産ライン増強のため、工場の新設を行い、人員は中途採用で補っている。(刃物)
- ◆ 車両の代替は随時行っているが、メーカーの生産遅れ等もあり、計画通りには納車できていない。(運輸)
- ◆ 金利上昇を見越した駆け込み需要は、大型設備を導入する際の資材価格高騰等のコスト上昇と相殺し、あまり増加しないと思われる。(金融機関)

原油・原材料高騰に伴う経済変動の影響について

- ◆ 主な原材料であるアルミニウム価格の値動きが激しい。為替に左右されており、需要、市場に関係なく、高止まりしている。(輸送用機械器具)
- ◆ 為替の動きが5%以上になると、海外市場での調達価格の改定を行っており、中国市場での調達価格を増額改定したところ。(非鉄金属)
- ◆ 為替の影響を抑えるため、中国の子会社との間で、その時々の方替により資材の購入先を国内か海外か決定している。(生産用機械器具)
- ◆ 労務費や工場消耗品・修繕費及び金型の保管費について経済産業省の指針を受けて積極的に価格転嫁に向けた交渉をする会社が増えてきた。(生産用機械器具)
- ◆ 為替レートの影響による金額増加分を卸先と自社で半分ずつ負担している。(刃物)

海外情勢に伴う経済変動の影響について

- ◆ 受注状況としては、米国は比較的堅調に推移しているが、国内や欧州では停滞感がみられる。中国からの受注は回復基調にあるが、その持続性はまだ見通せない。(生産用機械器具)

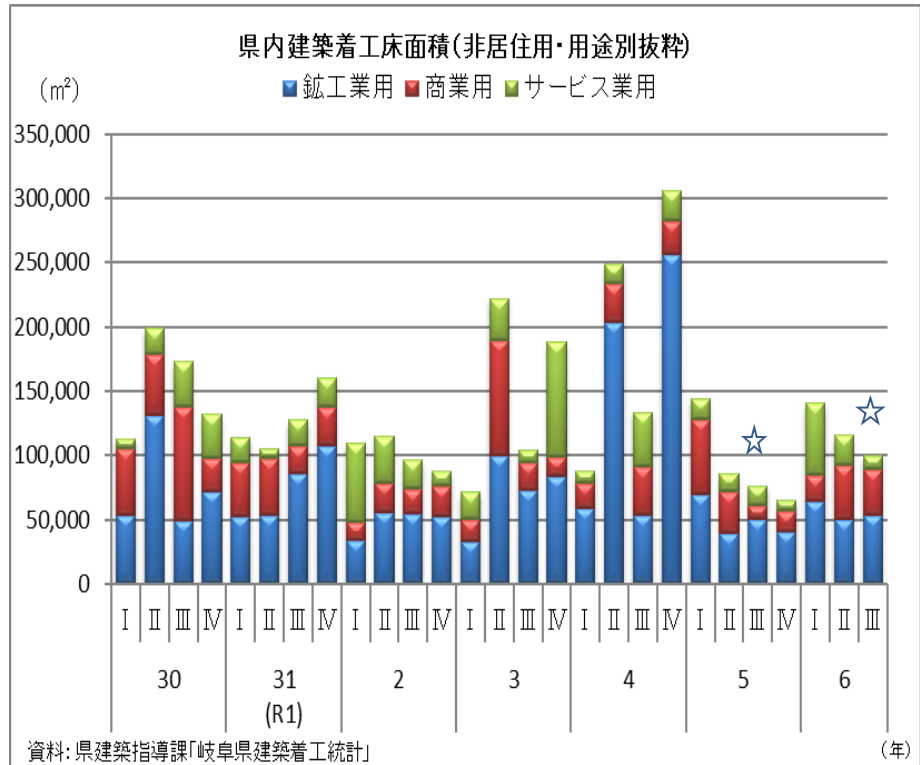
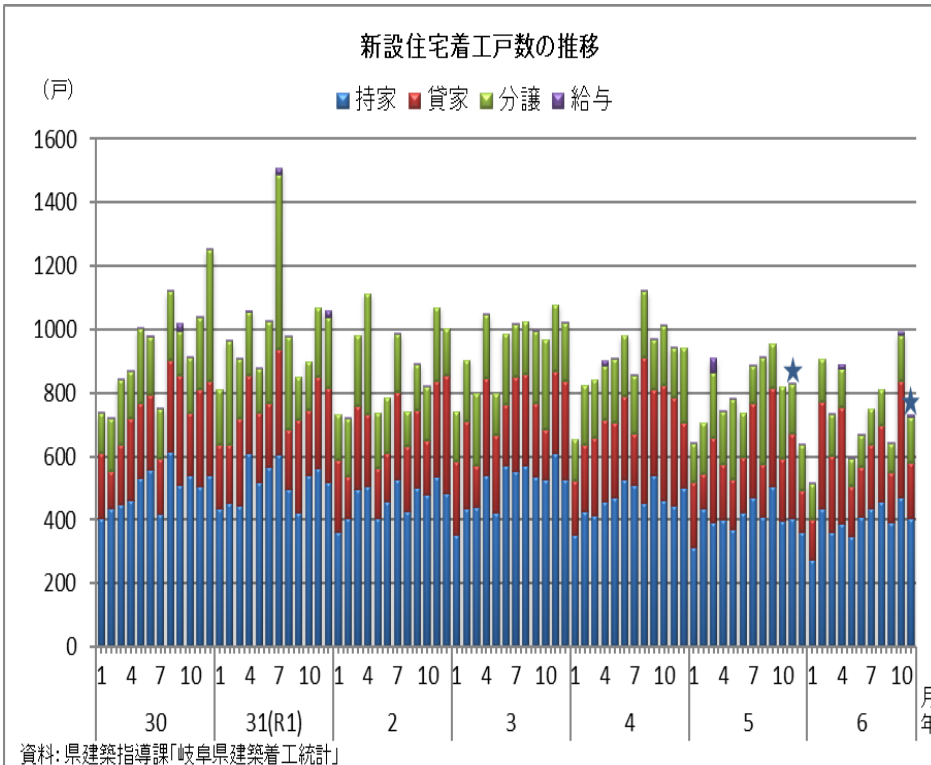
「物流2024問題」の影響について

- ◆ 荷主が、倉庫につけるトラックの予約制を取り入れることで、待機時間の短縮が出来ている。(運輸)
- ◆ 鉄道・フェリーを使用した長距離輸送をトライアルで実施したが、運航自体に問題は発生しなかった。但し、前後の荷役問題等の課題も発生したため、まだ実用には至っていない。(運輸)

住宅・建築投資

- 11月の住宅着工戸数は、前年同月比▲11.7%となった。
- 貸家で前年同月比▲33.1%、分譲で同▲7.7%、持家で同▲0.7%となった。

- 7－9月期の非居住用の建築着工床面積は、商業用で前年同期比233.9%、鉱工業用で同4.8%上昇した一方で、サービス業用で同▲29.1%となり、全体で同30.0%上昇となった。



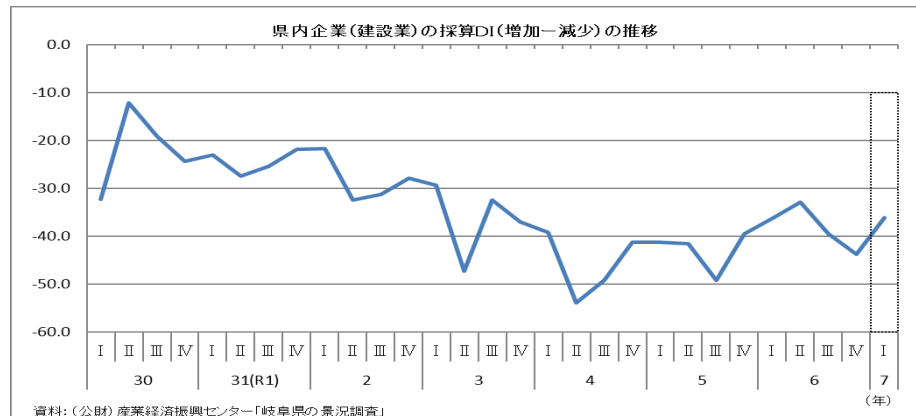
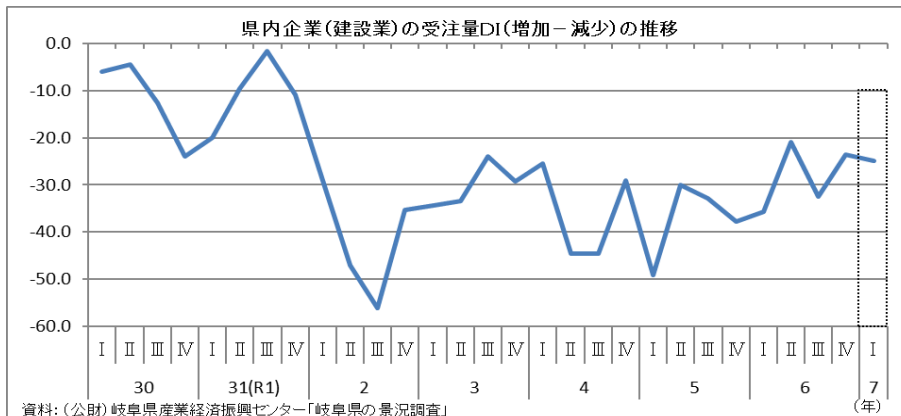
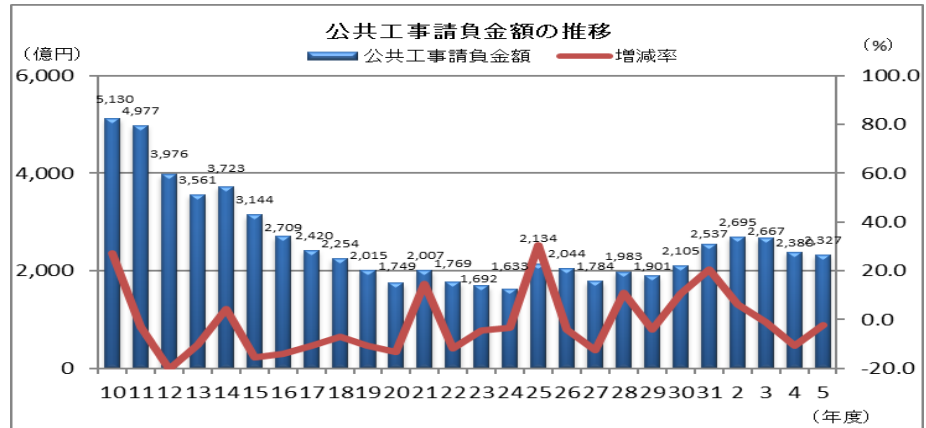
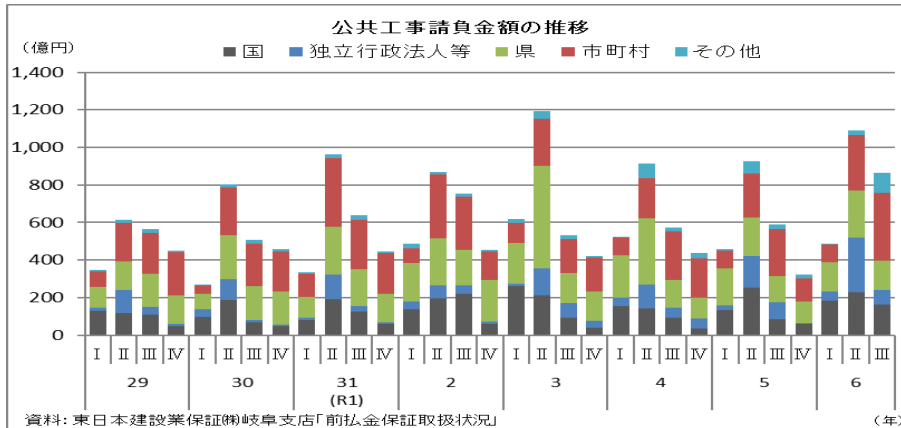
現場の動き

- ◆ 雪による影響で今後、冬季の出材量が減ることを懸念している。(卸売)
- ◆ 住宅の着工戸数が伸びないため、木材需要回復の兆しが見えない。(卸売)
- ◆ 11月、12月と建築は順調だったが、1月と2月は反動で受注予定が少ない。(卸売)
- ◆ 2025年4月の建築基準法改正によりJAS材の需要が増えると思われる。(卸売)

建設工事

○7－9月期の発注者別の公共工事請負金額は、国で前年同期比90.6%増、県で同13.1%増、独立行政法人等で同▲14.0%となり、全体で同47.5%増となった。

○県内建設業の1－3月期の受注量DI見通しは前期比▲1.4ポイントとなり、同採算DI見通しは同7.6ポイント上昇となった。



現場の動き

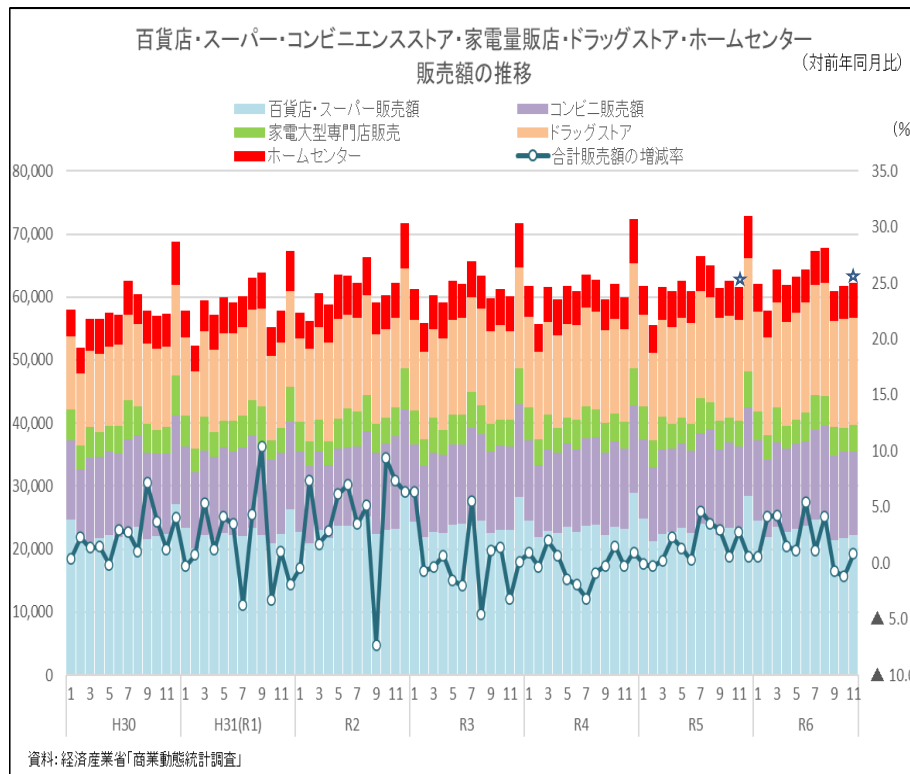
- ◆ 発注時期の平準化が乱れてきており、上半期の発注は少なく、下半期に集中する傾向にある。
- ◆ 急激な値上がりにより、設計価格と市場価格が実情と乖離している。
- ◆ 建材の主材料となる生コンが大きく値上がりしたことが、利益を下げる要因となっている。

(以上、建設)

個人消費(流通・小売)

○11月はドラッグストアで前年同月比6.7%、ホームセンターで同3.4%、家電大型専門店で同1.7%、コンビニで1.4%上昇した一方で、百貨店・スーパーで同▲4.3%となり、全体で同0.8%上昇となった。

○11月の新車販売台数(除く軽)は、前年同月比▲3.6%と2ヶ月ぶりに前年同月を下回った。軽自動車は同▲3.4%と2ヶ月連続で前年同月を下回った。合算では同▲3.5%と、前年同月を2ヶ月ぶりに下回った。



現場の動き

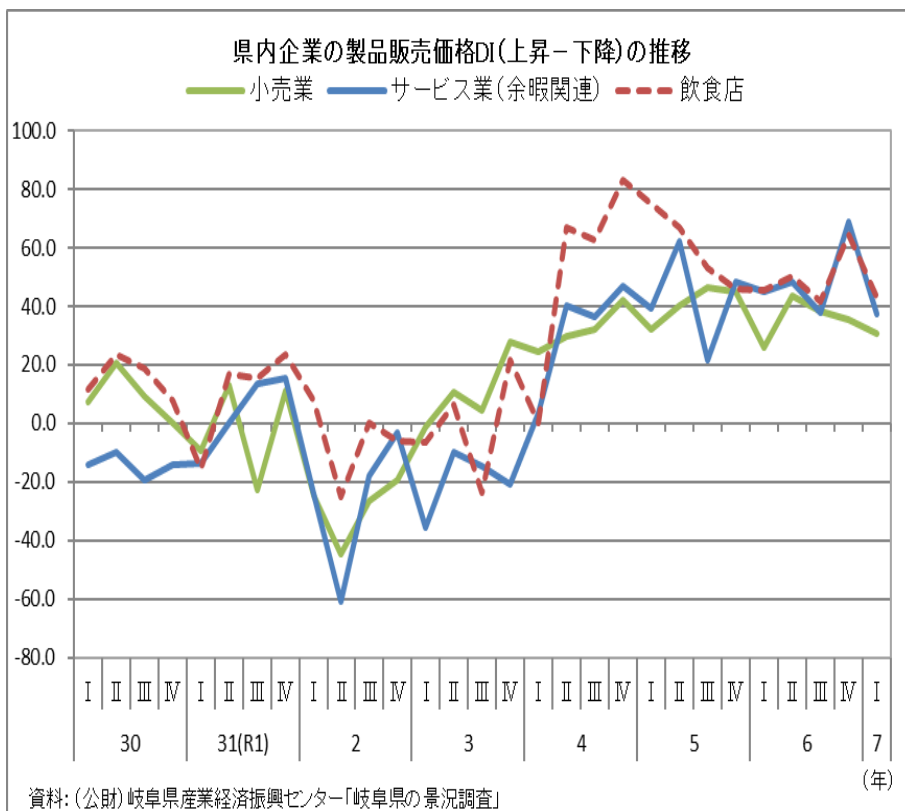
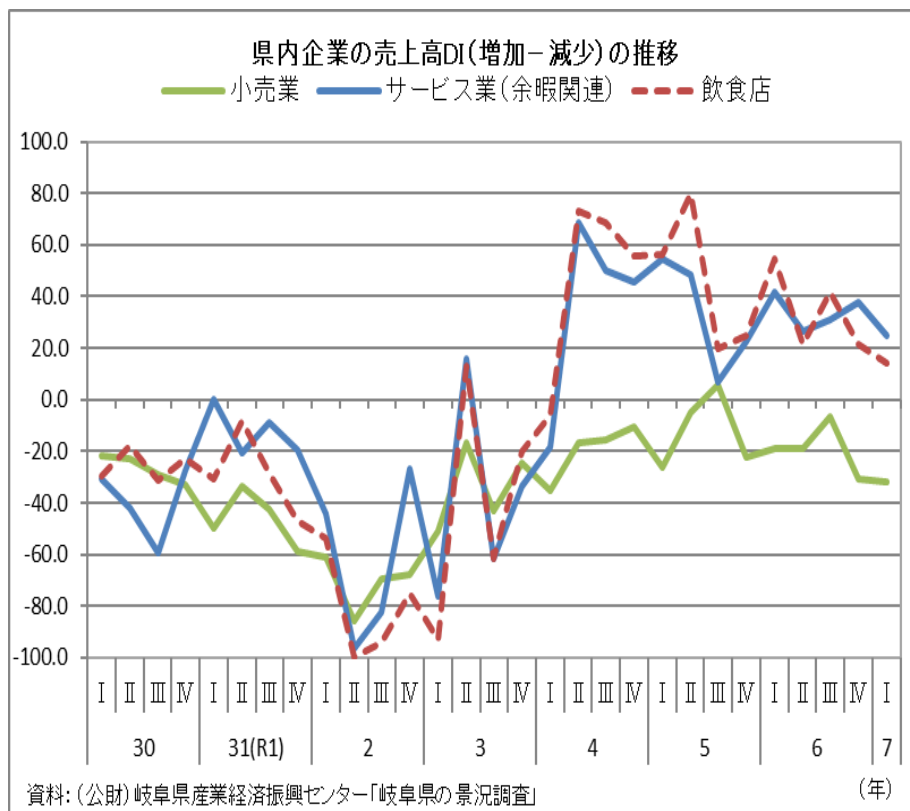
- ◆ 食品を中心とした多品目の値上げにより、1人あたりの買上点数が減少傾向にあり、今後も継続する見込み。
- ◆ 原材料の高騰もあり、店舗によっては事業継続への影響が懸念される。

(以上、県内商業施設)

個人消費(流通・小売)－2

○1－3月期の売上高DI見通しは、サービス業(余暇関連)で前期比▲12.5ポイント、飲食店で同▲7.2ポイント、小売業で同▲1.6ポイントとなった。

○同じく販売価格DI見通しは、サービス業(余暇関連)で前期比▲31.3ポイント、飲食店で同▲21.4ポイント、小売業で同▲4.9ポイントとなった。



現場の動き

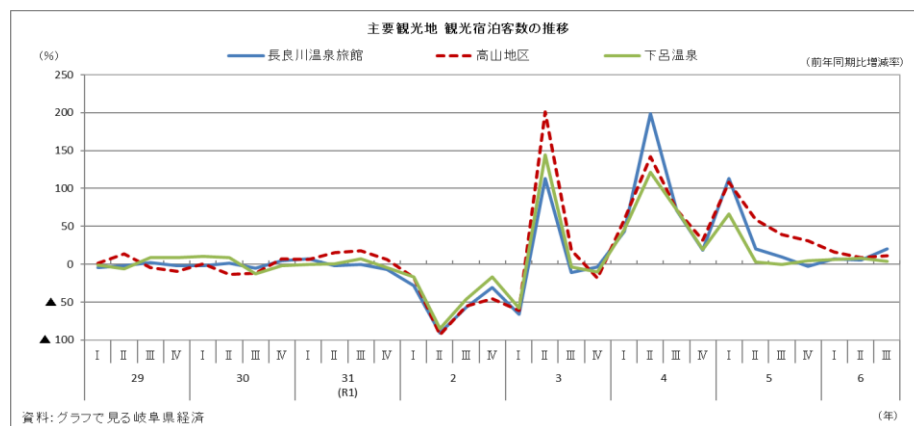
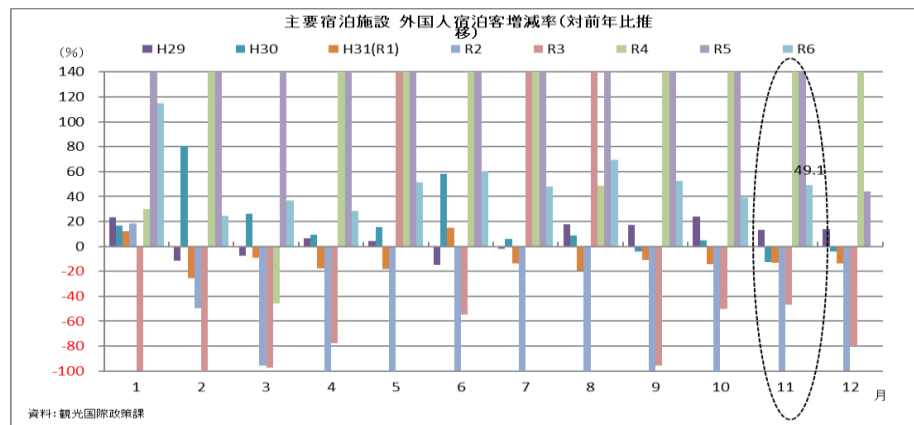
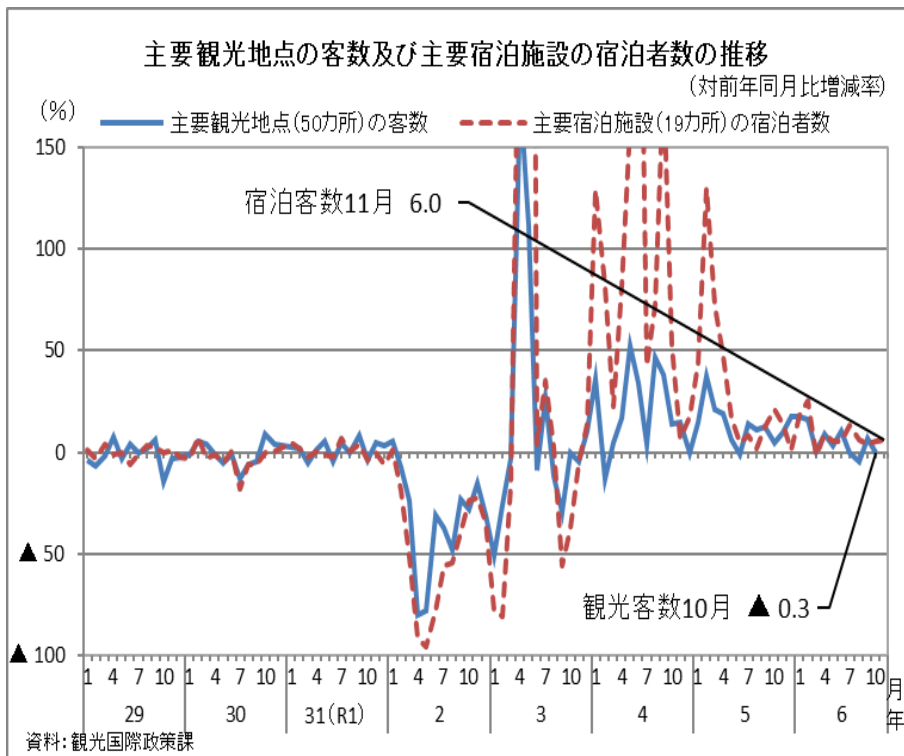
- ◆ メールやはがき等を配布し集客しているものの、来客数は減少しており、今月も苦戦している。(柳ヶ瀬商店街)
- ◆ 価格にシビアな地域なので、客離れが進まないよう、少しずつ転嫁していく。(大垣市商店街)
- ◆ 商店街のイベントは好天に恵まれ人手は多かったが、購買は期待ほどではなかった。(大垣市商店街)

観光

○主要宿泊施設における11月の宿泊者数は、前年同月比6.0%増、令和元年同月比では、3.9%減となっている。

※主要観光地における11月の観光客数については、集計中。

○11月の主要宿泊施設における外国人宿泊者数は、コロナ前の令和元年同月比では、48.0%増となっている。

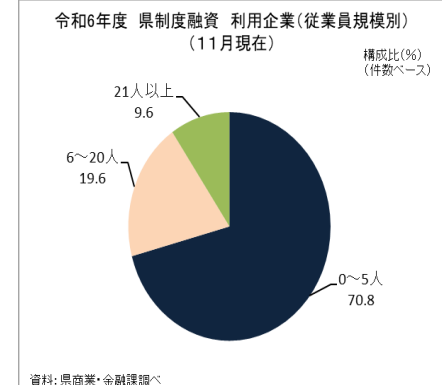
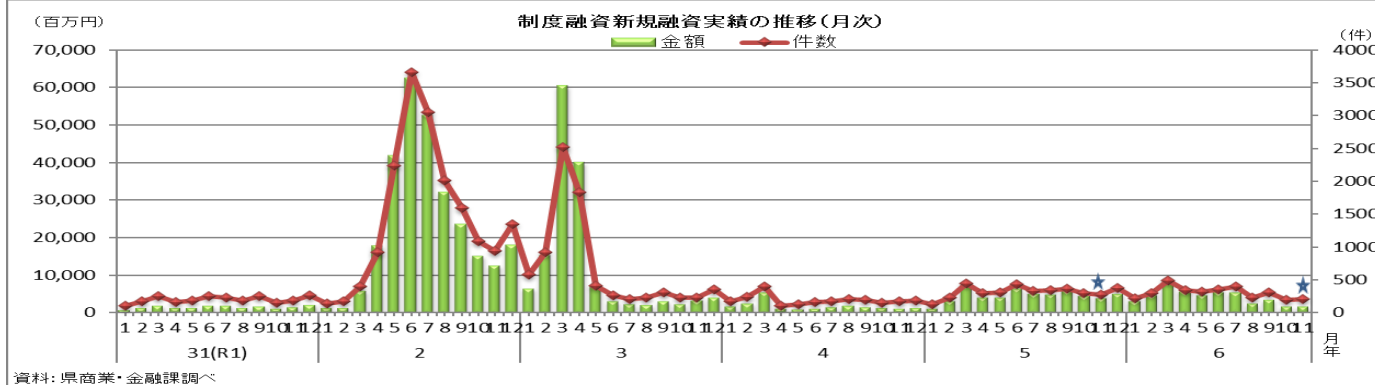
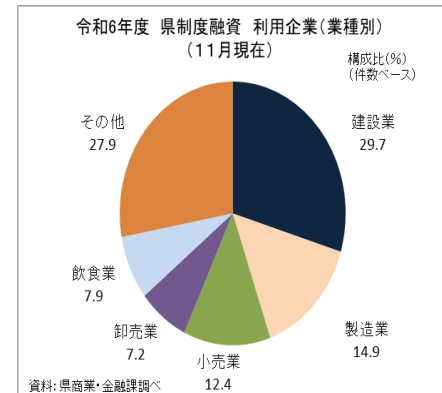
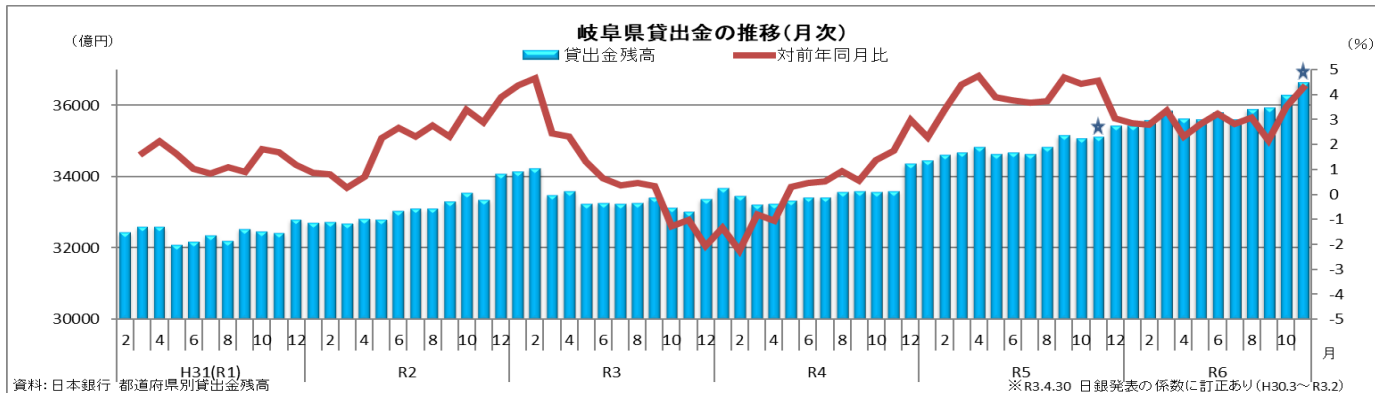


現場の動き

- ◆インターネット予約が増加。(高山市、下呂市の宿泊施設)
- ◆ぎふ旅コインの影響が限定的。(岐阜市、美濃加茂市、下呂市の宿泊施設)
- ◆人材不足が深刻化しており、日本人の人材確保が困難。(高山市、下呂市の宿泊施設)
- ◆原材料等の価格や仕入れ単価の高止まりが継続。(岐阜市、高山市、下呂市の宿泊施設)

資金繰り

- 11月の岐阜県貸出金残高は、3兆6,643億円で前年同月比4.3%増加し、31ヶ月連続で増加。
- 11月の制度融資実績は、金額が1,885百万円で前年同月比▲52.3%、件数は211件で同▲23.3%と、金額、件数共に4ヶ月連続で減少した。
- 制度融資利用企業の従業員規模別は、5人以下の事業所が全体の70.8%を占めている。



現場の動き

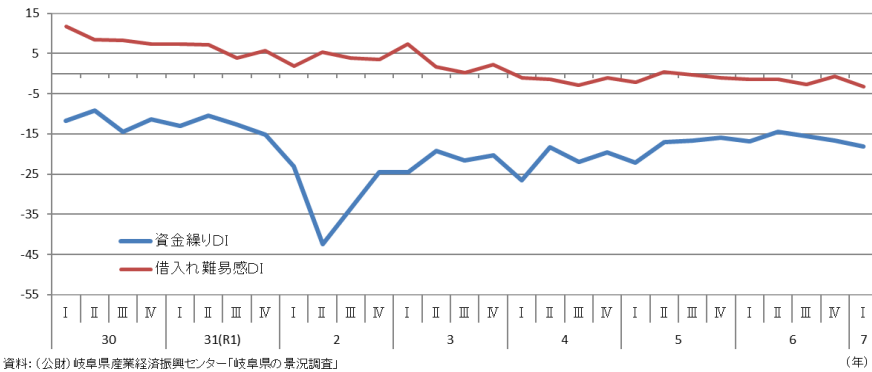
- ◆ 資金需要は特段大きな動きはないが、融資残高ベースで見ると、緩やかに増加している。
- ◆ 業種問わず金利上昇を見越して、借入金の繰り上げ返済や長期固定での資金需要が増えていくと予想している。

(以上、金融機関)

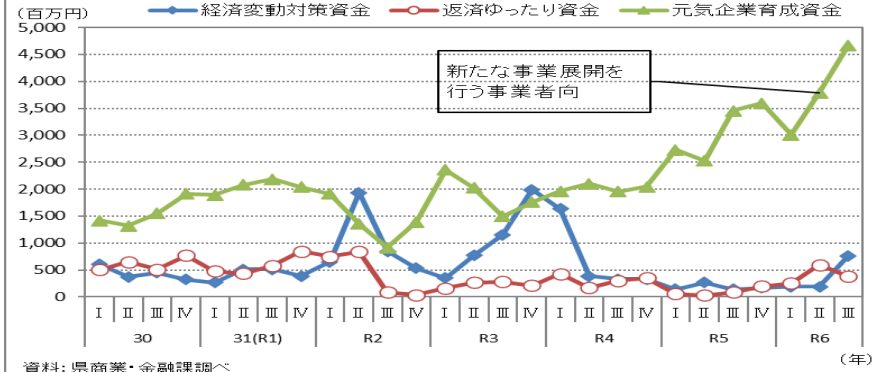
資金繰りー2

- 1－3月期の資金繰りDI見通しは▲18. 2で、前期比▲1. 5ポイントとなった。同借入難易感DI実績は▲3. 2で、前期比▲2. 6ポイントとなった。
- 7－9月期の主要資金別新規制度融資実績は、経済変動対策資金で前年同期比431. 5%、返済ゆったり資金で同343. 7%増加した。元気企業育成資金では同35. 2%増加と10期連続で増加した。
- 11月のセーフティネット5号保証承諾実績は、件数が11件で前年同月比▲68. 6%、金額は283百万円で同▲66. 6%となった。
- 11月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は81件で前年同月比▲22. 9%、金額は1, 028百万円で同▲11. 1%となった。

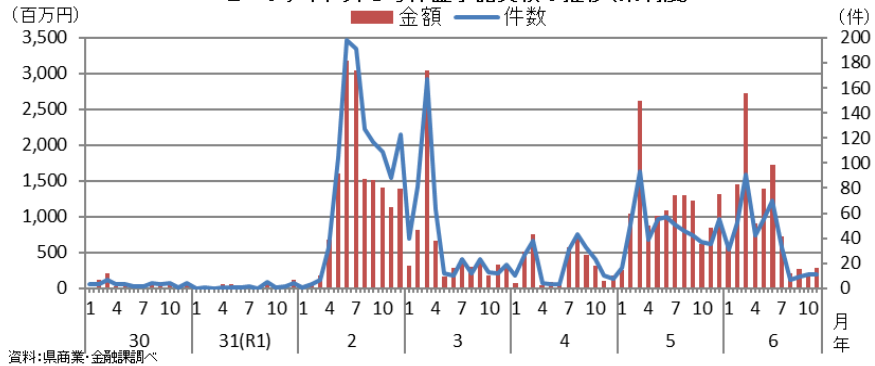
県内企業の資金繰りDI(好転－悪化)及び借入難易感DI(容易－困難)の推移



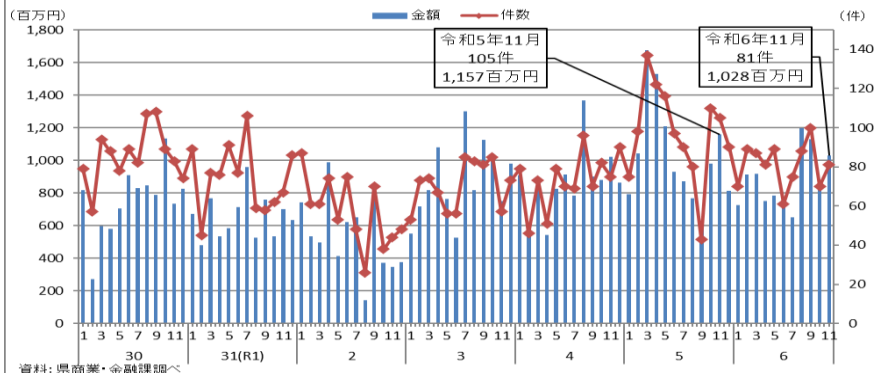
主要資金別新規制度融資額実績の推移



セーフティネット5号保証承諾実績の推移(県制度)

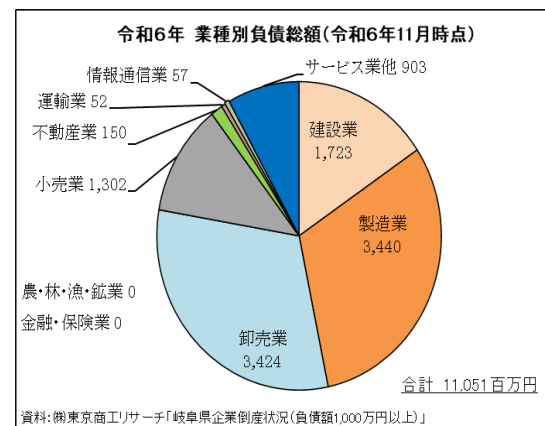
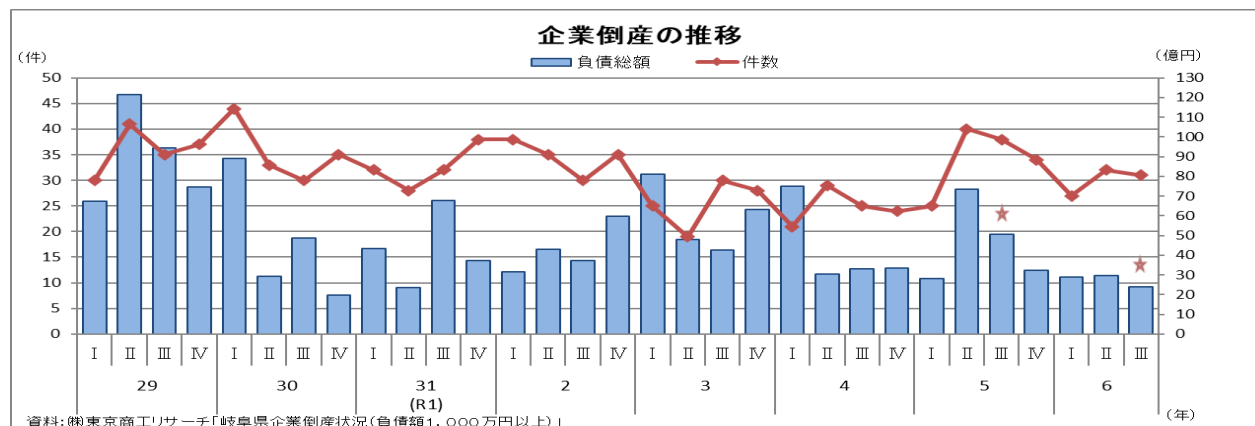
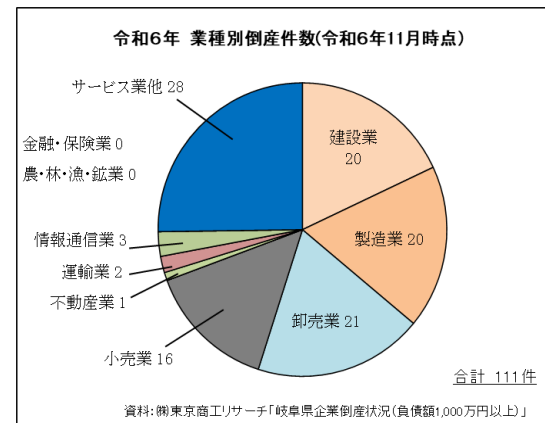
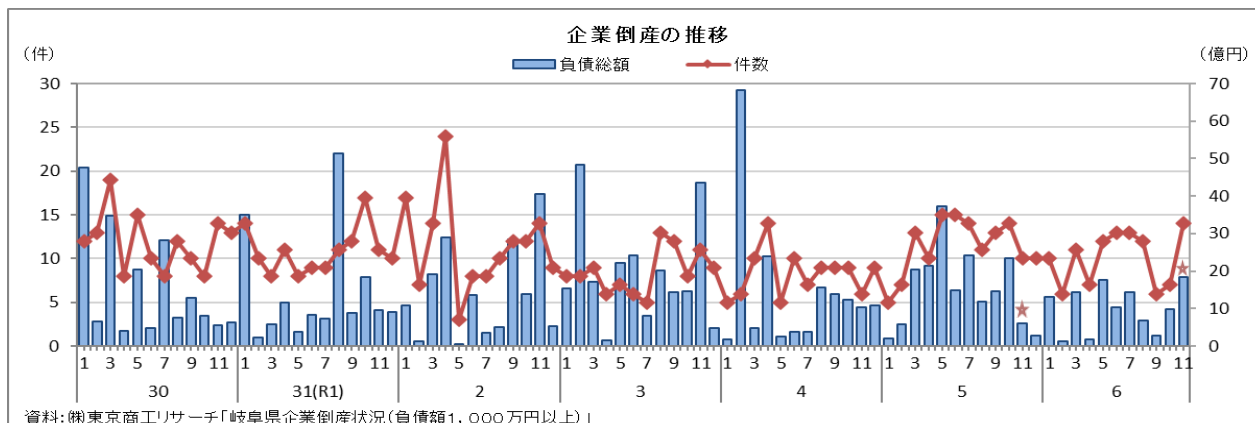


県信用保証協会 事故報告受付状況(毎月)



倒産

○11月単月の倒産件数は14件、負債総額は前月比872百万円増額の1,847百万円となった。
○令和5年11月は負債総額1億円以上の倒産は2件発生したのに対して、令和6年11月は同倒産6件となった。負債総額は前年同月比1,300百万円増加となった。



専門機関の分析(東京商工リサーチ・12月9日時点)

- ◆ 足元の経済情勢については、円安基調に起因する物価高は続き、価格転嫁が進まない中小零細企業の経営に暗い影を落としており、企業の業績が一段と悪化する傾向が強まっている。2024年4月に民間ゼロゼロ融資(実質無利子・無担保融資)の返済が最後のピークを迎え、6月にはコロナ関連の中小企業資金繰り支援(コロナ借換保証)が終了したものの、コロナ禍からの業績回復が遅れた企業の多くは過剰債務に陥り、新たな資金調達に課題を抱えている。

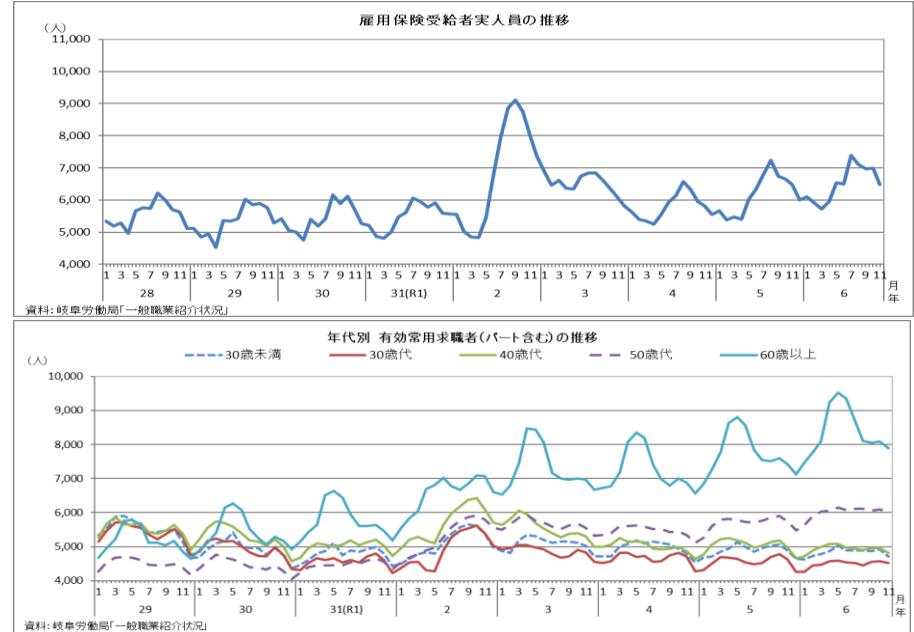
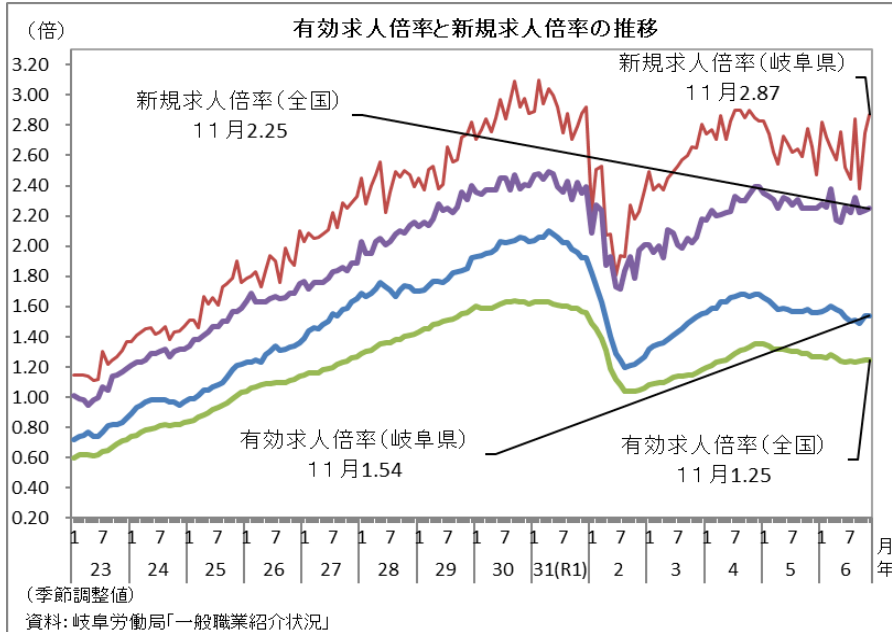
雇用

○11月の有効求人倍率は1.54倍と、前月同
比となった。

○11月の新規求人倍率は2.87倍と、前月比
0.12ポイント上昇となった。

○11月の雇用保険受給者人員は、前月比
▲7.3%となった。

○有効常用求職者は、50歳代では22ヶ月連続、
60歳代では23ヶ月連続で上昇した。



現場の動き

- ◆ 先日、合同説明会に参加したが、時間外勤務と休日数で最初に選択され、少なくとも年間休日120日を超えないと選んでもらえない傾向にある。(生産用機械)
- ◆ 人員不足への一時的な対応として派遣社員や技能実習生を充てている状況では、継続的な社員育成・社員教育の継承が行えない。(プラスチック製品)
- ◆ 無理に賃上げを行うと固定費の上昇となることから、業績に応じ賞与支給で調整し、時間給を最低賃金水準で支払っているメーカーが多い。(刃物)
- ◆ 正社員と、パートの給与の差がなくなっているため、パートであっても社員と同様の生産効率をあげられるよう、対応を考えている。(輸送用機械)

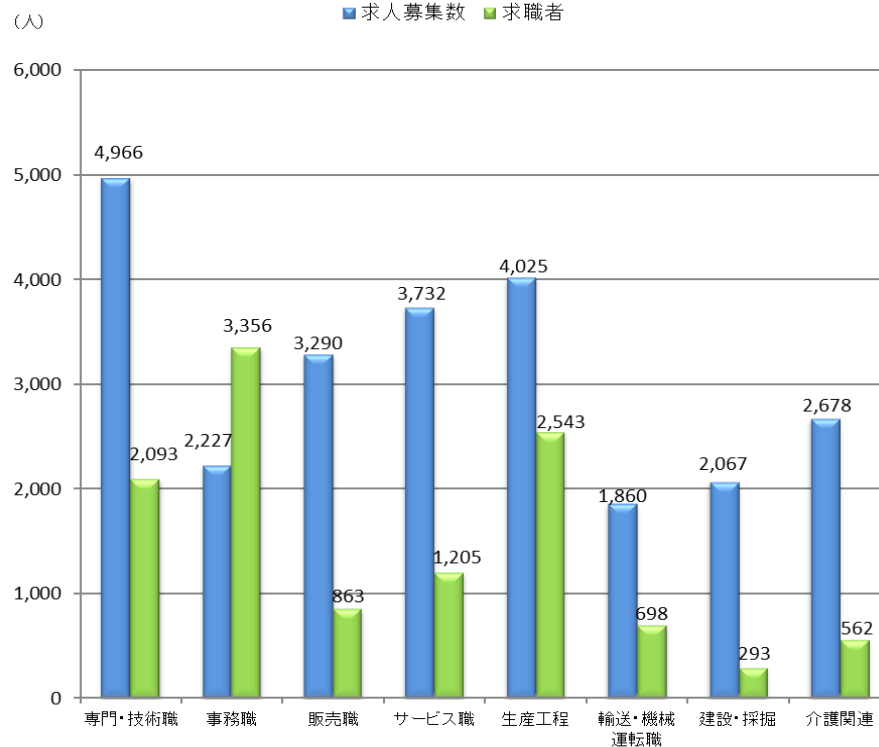
雇 用(職業別)

○有効求人倍率は、建設・採掘で7.05倍、介護関連で4.77倍、販売職で3.81倍、サービス職で3.10倍など、引き続き人手不足の状況は続いている。

○一方で、事務職の有効求人倍率は0.66倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

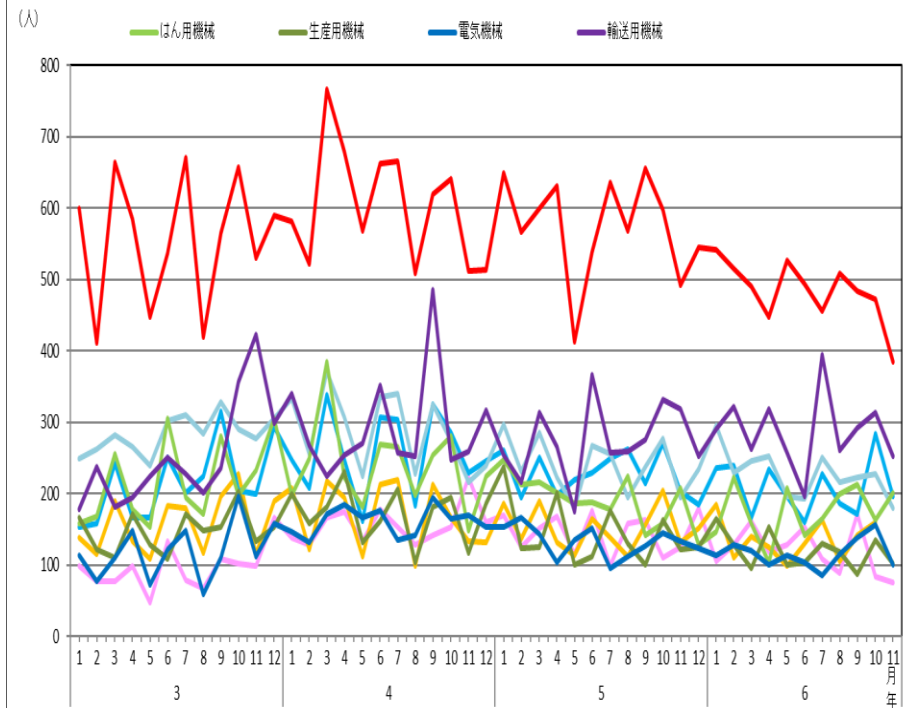
○11月の主要産業別の新規求人数は、繊維工業で前年同月比▲40.0%、電気機械で同▲24.8%、食料品で同▲22.0%、輸送用機械で同▲20.7%、生産用機械で同▲16.4%、プラスチック製品で同▲8.4%、金属製品で▲7.7%、窯業・土石で▲3.0%、はん用で同▲2.4%となった。

11月 職業別有効求人募集数・有効求職者数(常用的フルタイム)



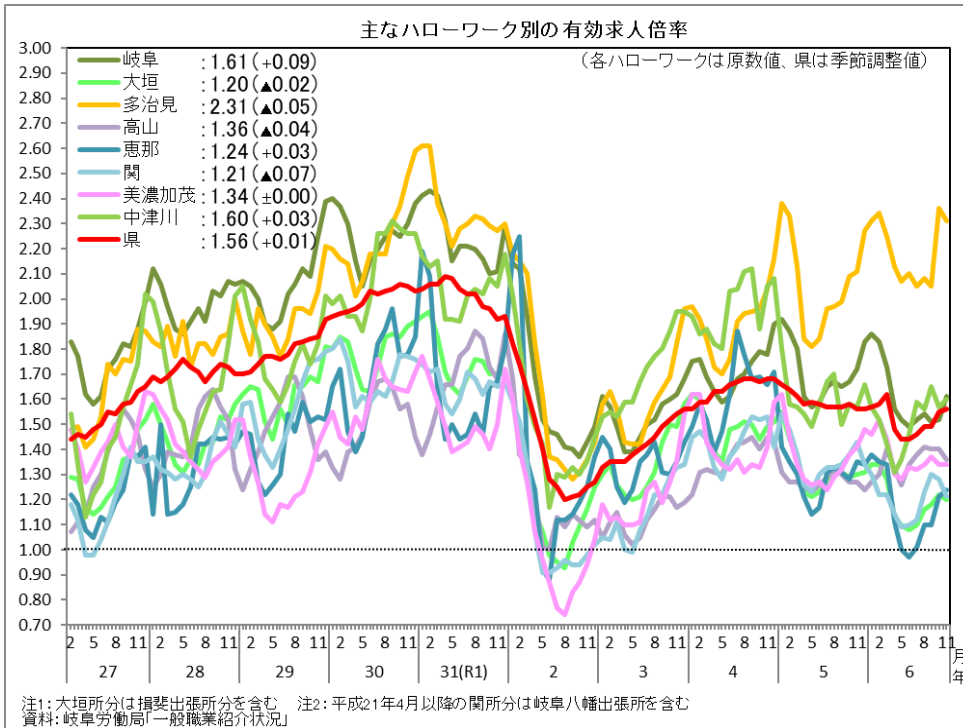
資料: 岐阜労働局「求人・求職バランスシート」

主要産業別 新規求人数(一般+パート)推移



資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

雇 用(地域別)



○11月の主なハローワーク別の有効求人倍率は、岐阜、恵那、中津川で前月比で増加となった。

現場の動き(前月比)

<ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク大垣>

- ◆求人者数、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク多治見>

- ◆求人者数は減少、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数はやや減少。

<ハローワーク高山>

- ◆求人者数、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数はやや減少。

<ハローワーク恵那>

- ◆求人者数、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク関>

- ◆求人者数、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数はやや増加。

<ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数は増加、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク中津川>

- ◆求人者数は増加、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数はやや増加。

<窓口の様子>※前月比

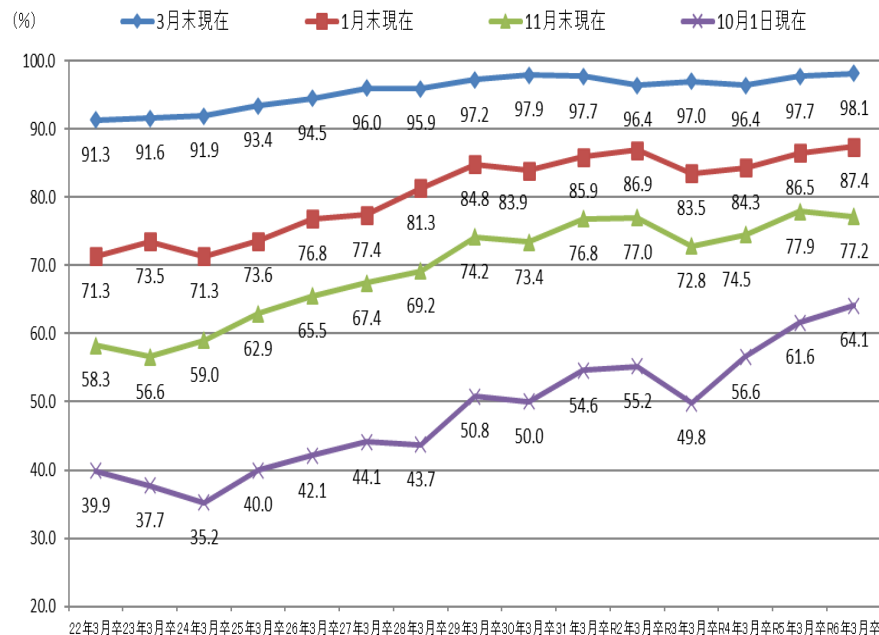
- ◆恵那で混雑している、美濃加茂でやや混雑している、岐阜、大垣、多治見及び中津川で同じくらい、高山でやや空いている、関で空いている状況。

雇 用(大学・短大新卒者の就職)

○岐阜県の令和6年3月末現在の大学・短大卒業者(令和6年3月卒業)の就職内定率は、98.1%であり、前年同時点と比べ0.4ポイント上昇となった。

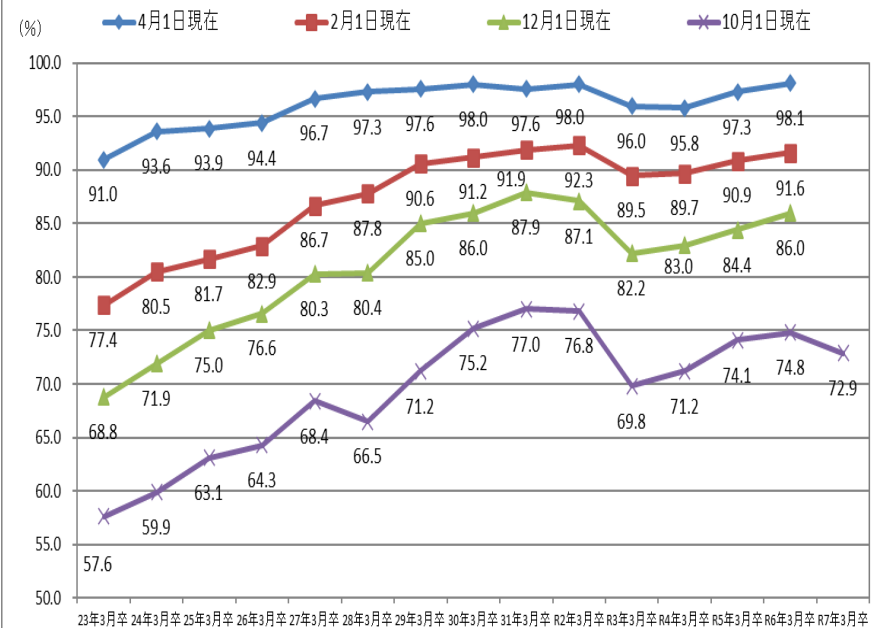
○全国の令和6年10月1日現在の大学卒業者(令和7年3月卒業)内定率は72.9%であり、前年同時点と比べ▲1.9ポイントとなった。

新規卒業者(大学・短大)の就職内定率の推移<岐阜県>



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業生(大学・短大)の就職内定状況」

新規卒業者(大学)の就職内定率の推移<全国>



資料: 厚生労働省「大学等卒業予定者の就職状況調査」

現場の動き(2025卒、2026卒の動きなど)

<大学へのヒアリング>

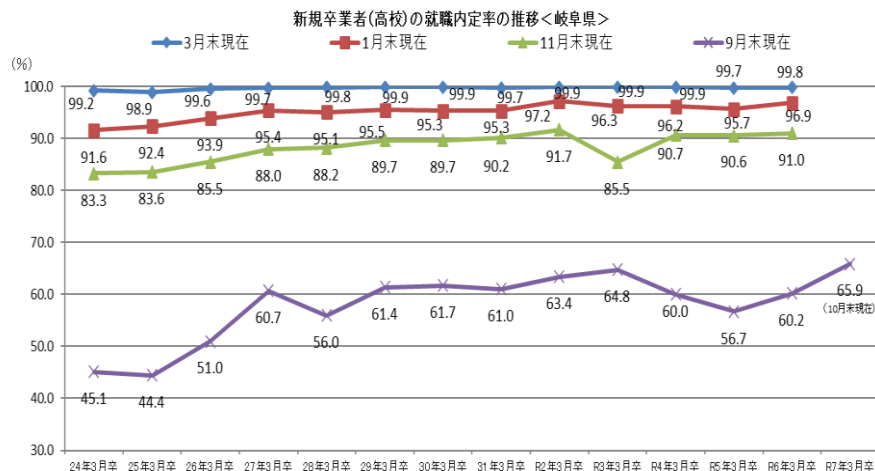
- ◆ 25年卒からの相談はほとんど無い。昨年同時期と内定や相談の状況は変わらない。
- ◆ 26年卒からの相談は引き続き増えており、相談枠はほとんど埋まっている。相談内容は早期選考についての相談がほとんど。内定の報告も一部来ているがさほど多くない。

(以上、岐阜・愛知県内大学)

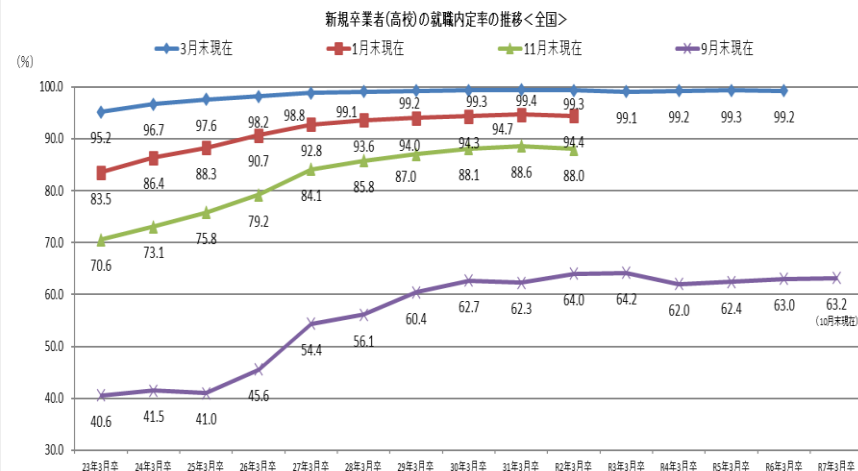
雇 用(高校新卒者の就職)

○岐阜県の令和6年9月末現在の高校卒業者(令和7年3月卒業)の就職内定率は65.9%であり、前年同時点と比べ3.5ポイント上昇した。

○全国の令和6年9月末時点の高校卒業者(令和7年3月卒業)の就職内定率は63.2%であり、前年同時点と比べ0.6ポイント上昇した。

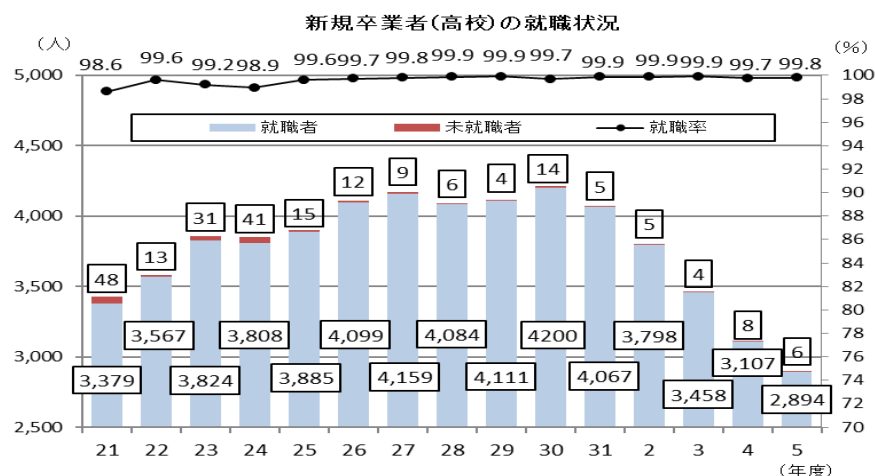


資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

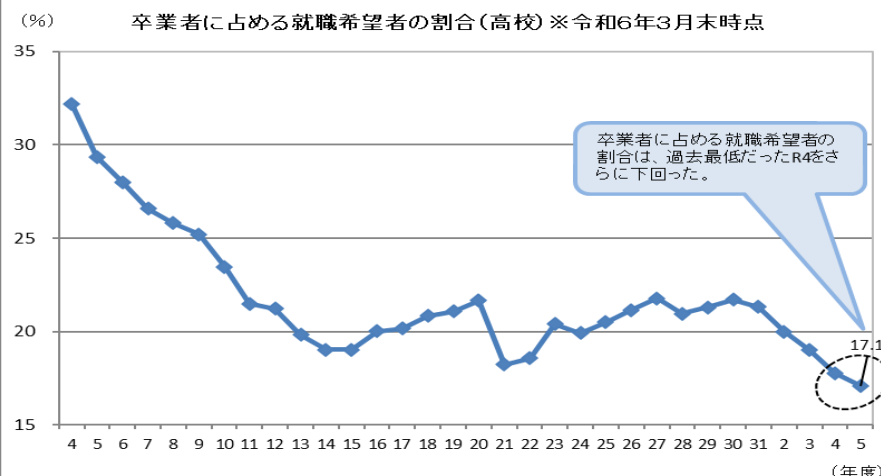


資料: 厚生労働省「高校・中学校卒業者の求人・求職内定状況等」

※R3年3月卒から「11月末」及び「1月末」は集計していない。



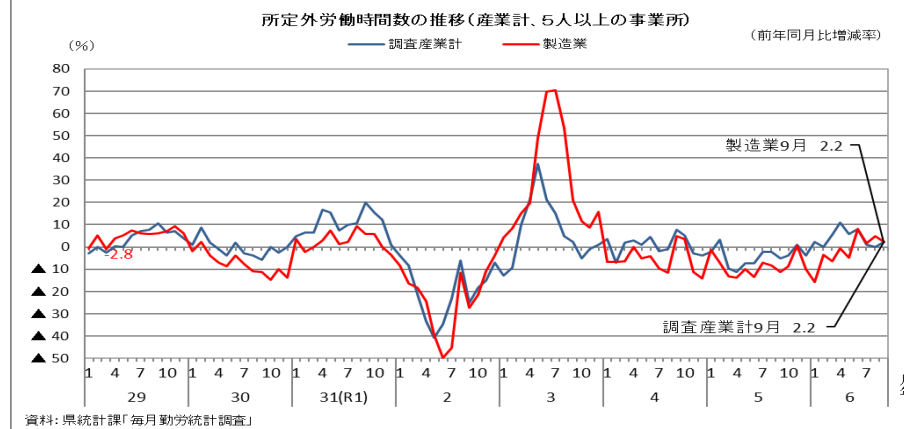
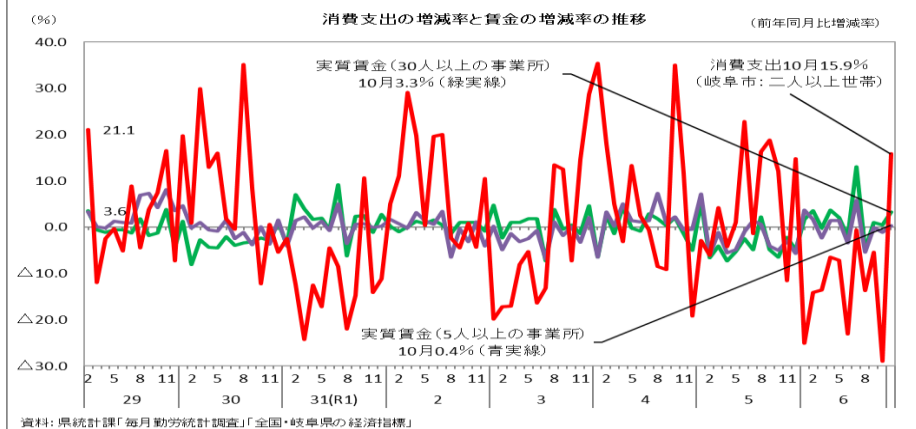
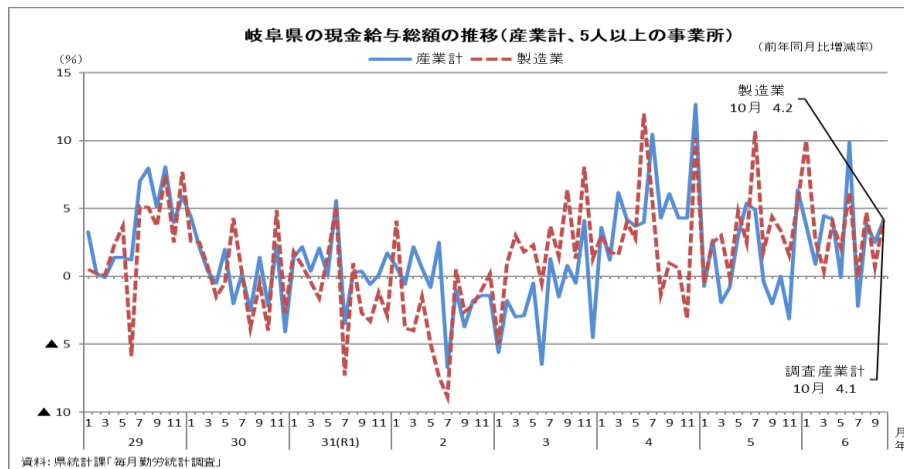
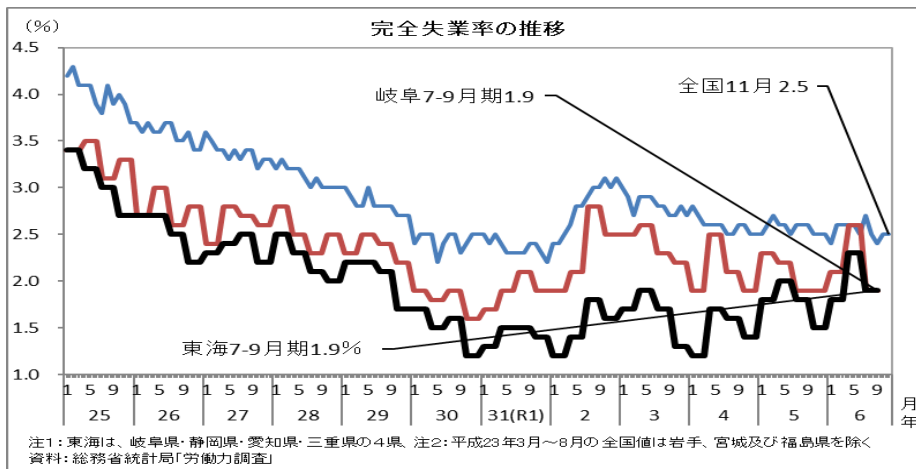
資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

雇 用(完全失業率等)

- 全国の11月の完全失業率は2.5%で前月同比となった。岐阜県の7-9月期の平均は1.9%で前期比▲0.4ポイントとなった。
- 10月の現金給与総額は、調査産業計で前年同月比4.1%、製造業で同4.2%上昇となった。
- 10月の実質賃金増減率は、30人以上の事業所で前年同月比3.3%、5人以上で0.4%上昇となった。10月の消費支出については同15.9%上昇となった。
- 10月の所定外労働時間数は前年同月比で▲1.6%となった。



<経済・雇用の現状（総括）>

- 製造業は、10月の鉱工業生産指数は2.1%上昇となった。ヒアリングでは、大手自動車メーカーの生産停止分の振替が行われたことで、生産数が増加し、今期で最も業績が良かったとの声が聞かれた一方で、ダイキャスト業界全体で業績が良くないため、取引業者が自主廃業するケースが増えており、代わりの業者を探すのに苦慮しているとの声が聞かれた。
- 地場産業は、10月の鉱工業生産指数は、木材・木製品、食料品、家具、パルプ・紙で上昇した。ヒアリングでは、円高の時期に海外からの商品を少し多めにストックすることにより、為替の動きに対応しているとの声や、輸出量は前年並みの水準を維持しているが、国内出荷量は全体的に低迷しているとの声が聞かれた。
- 設備投資は、11月の全国の金属工作機械受注額は、前年同月比3.0%増加となった。ヒアリングでは、車両の代替は随時行っているが、メーカーの生産遅れ等もあり、計画通りには納車できていないとの声や、金利上昇を見越した駆け込み需要は、大型設備を導入する際の資材価格高騰等のコスト上昇と相殺し、あまり増加しないと思われるとの声が聞かれた。
- 個人消費は、11月の販売額は、全体で前年同月比0.8%増加となった。ヒアリングでは、食品を中心とした多品目の値上げにより、1人あたりの買上点数が減少傾向にあるとの声や、原材料の高騰もあり、店舗によっては事業継続への影響が懸念されるとの声が聞かれた。
- 観光は、宿泊者数はインバウンド客の増加等により、前年同月と比較しプラスとなるなど、回復傾向にあり、コロナ前と同程度まで戻ってきている。宿泊施設からのヒアリングでは、人手不足に苦慮しているとの声が多くあり、外国人人材を活用する施設もあった。
- 企業の資金繰りは、11月の制度融資実績は、金額で4ヶ月連続で減少となった。資金需要は特段大きな動きはないが、融資残高ベースでみると、緩やかに増加しているとの声が聞かれた。
- 雇用面は、11月の有効求人倍率は1.54倍と2ヶ月連続で1.50倍を上回った。ヒアリングでは、人員不足への一時的な対応として派遣社員や技能実習生を充てている状況では、継続的な社員育成・社員教育の継承が行えないとの声や、無理に賃上げを行うと固定費の上昇となることから、業績に応じ賞与支給で調整し、時間給を最低賃金水準で支払っているメーカーが多いとの声、正社員と、パートの給与の差がなくなっているため、パートであっても社員と同様の生産効率をあげられるよう、対応を考えているとの声が聞かれた。